

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

## 明德二俣川保育園

〒241-0821 横浜市旭区二俣川 1-6-1 二俣川北口ビル 6F

運営主体：社会福祉法人 明德福祉会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類別評価結果	5～14 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	15～22 ページ
利用者本人調査分析	23～24 ページ
事業者意見	25 ページ

2007年5月22日 公表

評価機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	社会福祉法人 明德福祉会 明德二俣川保育園		
報告書作成日	2007年5月22日	評価に要した期間	約6ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

### 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:06年11月15日 ~07年1月31日</p>	<p>春に、法人3園で、第三者評価受審に向けての勉強会を立ち上げ、園の第三者評価の担当者を決めた。その上で、園の全職員で、何度か自己評価票に記入を行うなど勉強を進めた。全職員が、個別に自己評価票に記入した。</p> <p>各個人が記入した自己評価票を元に乳児(0、1歳児)クラス、幼児(2、3、4、5歳児)クラスで集まり一つにまとめ、主任も自己評価を行い、三つをまとめたものを園長がチェックし、最終的には主任と園長が協議・合意してまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:06年12月1日 ~12月15日</p>	<p>全利用者(園児)の保護者(84家族)へ、事業者(園)から手渡し。</p> <p>各保護者より、同封の返送用封筒にて評価機関宛に、無記名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 07年3月12日 第2日 07年3月15日</p>	<p>第1日午前中は、各クラスの保育観察。 昼食は3,4,5歳児と一緒にいただいた。 午後は書類調査と保育観察、および園長・主任に面接調査を実施した。</p> <p>第2日午前中は、各クラスの保育観察と、書類調査。 昼食は3,4,5歳児と一緒にいただいた。 午後は書類調査と保育観察、および栄養士、看護師と各クラスリーダー6名に面接調査。 その後、園長・主任に面接調査と意見交換を実施した。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 07年3月12日 第2日 07年3月15日</p>	<p>観察調査は、園内および戸外(園庭・公園・散歩に同行)にて実施。</p> <p>聞き取り調査は、5歳児以上を中心に、保育中および食事に実施。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

「明德二俣川保育園」は、相鉄線「二俣川」駅から徒歩2分のビルの6階に、平成18年（2006年）4月に開園したばかりの、新しい保育園です。

運営主体は「社会福祉法人明德福祉会」で、南区に「明德乳児保育所」金沢区に「明德釜利谷保育園」の運営も行なっています。0～5歳まで定員は90名ですが、現在の園児数は97名、職員数は、常勤職員のみ28名となっています。午前7時から午後8時まで保育をしています。

ビル最上階のフロア全てが保育園で、土こそありませんが比較的広い園庭があり、全保育室が南向きに大きく開口部をとり、明るく開放的な作りです。1フロアを区切った保育室は、0・1歳児室と2～5歳児室の2部屋に大きく分かれており、現在は2～5歳児室の一角をロッカーで区切って、2歳児専用のスペースとしています。他は3、4、5歳児のスペースで、保育内容によってテーブルで区別をしたり、時間をずらしたり、年齢別保育と異年齢保育を工夫しながら行っています。

### 高く評価できる点

#### 1、園長以下若い保育士が意欲的に園づくりに取り組んでいます。

開園1年目で、系列園から3人の保育士が来たほかは新しい保育士で開園しました。場所も子どもも保護者も全てが新しい環境なので、園としても苦労の多い時期ではありましたが、保育士達は試行錯誤をしながらも、子ども達にとってのより良い環境づくりに励んでいます。外部の研修も受けながら、子ども達にとって遊びやすいコーナーを工夫したり、障がい児を全員で受け入れるように努めたり、棚で区切って2歳児の部屋を作ることも最近実施しました。

部屋には多くの手作り玩具や、季節感のある壁面装飾があります。また、子どもの作品を写真にとってすぐに展示したり、ダンスの振り付けを自分達で考えるなど、保育士達の意欲が感じられます。

保育士の意欲は子ども達にも通じて、話もよく聞き、保育士と一緒に遊んでいる姿も多く見られ、母親から離れられない子どもを保育士が受けとめて泣き止む場面もありました。子ども達と保育士との関係はしっかり出来ていることが伺えます。

#### 2、園と保護者との関係づくりに努めています。

職員にとっても保護者にとっても新しい園で互いに慣れず、信頼関係が築かれる前に、多くの要望や苦情が園に寄せられ、混乱したことは園としても認めています。それらの要望に対して、一つ一つ検討し、園庭のコンクリート面を改善したり、ベランダ側の靴箱の位置について検討した結果、玄関に一部手を加えたりと、改善できる点は改善し、できるだけ早く回答をするように努めてきました。訪問時にも、掲示板に保護者への細やかで迅速な対応が掲示されていました。

このたびの家族アンケートの結果では、まだ道半ばといったところもうかがえますが、朝夕の保護者と保育士との関わりや、連絡帳の中のやり取りからは、関係は良くなりつつあると見えます。今後も園として保護者の意見・要望を誠実に受けとめ、その対応も含めてオープンにしていくなかで、より良い関係が築かれていくと期待できます。

## 独自に取り組んでいる点

### 1、保育・個人情報の IT 化と法人 3 園をつなぐ電子決済システム

法人 3 園をつなぐネットワークを組み、電子決済システムを導入しています。これによって保育士からの各種報告や保護者からの要望などの報告が、保育士、主任、園長、理事長へと迅速に行われています。3 園共通の様式を使い、保育内容・個人情報の IT 化を推進することで、職員間の情報共有と事務処理の効率化に役立てています。子どもたちに関わる各種の情報（指導計画・面談記録・健康記録など）をデータ登録し、個人データは園ごとに、職員誰もが必要な時に必要な情報を見ることができ、保育に反映させることができます。システムが職員全員に定着するまでには、もうしばらく時間が必要のようですが、保育や運営に及ぼす影響に加え、ペーパーレスによるコスト削減など、注目すべき取り組みです。

## 改善や工夫が望まれる点

### 1、保育士同士の研鑽を積み重ね、より一層保育の質の向上を

若い保育士が多いこともあり、試行錯誤があることはやむを得ませんが、常勤保育士のみで構成された職員で、若々しい意欲や保育士間の連携、フラットで意見が言いやすい関係、などの特長を活かして職員の体制は整いつつあります。

今後はさらに、系列園の職員同士の研鑽や外部の研修などを積み重ね、日々の保育の中で、異年齢保育やコーナー保育を充実させ、より子どもたち一人ひとりと向き合い、より落ち着いた環境づくりを目指していくことが望まれます。

### 2、地域との関係づくりと子育て支援の充実を

開園 1 年目のためやむを得ませんが、近隣地域との関わりはまだ薄いようです。今後は時間をかけて町内会自治会などの近隣組織との関係づくりをすすめ、地域情報を収集するとともに、保育園の存在価値を広めていくことが望まれます。

また、現在、園庭開放や一時保育、絵本の貸し出し、誕生会に地域の親子の参加を呼びかけるなど、地域の子育て支援にも意欲的です。今後は地の利を活かした広報手段や周知方法などを検討し、これをより定着させ、充実させていくことが望まれます。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価  
推進機構が定めた「評価領域」に則っ  
て、記載しています。

### 1、人権の尊重

- ◇ 保育の基本理念は、「生きる力を育てます」とし、子どもを尊重したものとなっています。
- ◇ サービスは、基本方針「基本的な生活習慣をつけ、集団の中で“元気な体・考える頭・愛する心”を育てます」に沿って実施されています。
- ◇ 守秘義務については職員マニュアルの中に記載されていて、全職員に周知されています。また、個人情報の取り扱いについて、園としての規程もあり、ボランティア、実習生を含め配布・周知されています。
- ◇ 虐待の定義については、職員全員が研修を受け、関係機関と連絡の取れる体制ができています。保育士は子どもの身体の状態を観察するとともに、保護者とのコミュニケーションを大切に、虐待の予防を心がけています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 保育士は子ども達の読みたい本や、散歩の行き先、園庭で何をして遊びたいかなど聞いてから決めるなど、子どもの発想や意見を保育に取り入れています。また、保育室のコーナースペースは自由に落ち着いて遊べるスペースとなっています。
- ◇ ビルの中の園で、園庭が屋上のため十分な広さはありませんが、子ども達の運動機能が高められるよう、発達段階に合わせてボール、縄跳び、三輪車など園庭遊びを取り入れています。朝のマラソンもしています。
- ◇ 保育室はテラス側が大きな窓となっていて明るい印象ですが、施設構造上 2.3.4.5 歳児が一つのフロアで過ごすため（2 歳児クラスはロッカーで区切り、スペースを確保しています）、クラス別や合同で活動する時、音が一面に広がります。音への配慮と保育室の使い方の工夫が望まれます。
- ◇ 近隣の小学校に招待され、楽しく交流する機会もあります。園が開設されて日が浅いため、地域の行事への参加は少ないですが、保護者からの情報提供も活発で、今後は積極的に参加したいと園は考えています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 年間指導計画、月間指導計画、週案、日案を作成しています。0、1 歳児は週案で、2 歳児以上は月間指導計画にて、前月の反省・評価・見直しをしています。指導計画は子どもの発達や状況に応じたものとなっています。
- ◇ 特に配慮の必要な子どもを積極的に受け入れており、受け入れに関しては職員会議で話し合い、記録は各個人別の児童票に記載して、全職員が共有しています。
- ◇ 苦情対応マニュアルがあります。また、意見箱が入れやすい場所に設置されています。年度末や行事後にアンケートを取り、保護者の意見や要望を積極的に聞いており、掲示板やクラスだよりにて速やかに回答しています。
- ◇ 第三者委員が 2 名任命されており、年度の初めに保護者に周知されています。
- ◇ 感染症対策・衛生管理・安全管理などのマニュアルがあり、必要に応じて見なおしがされています。また、職員全員に周知されています。
- ◇ 指導計画は、子どもの発達や状況に合わせて見直しをしています。
- ◇ 保護者との懇談会は年 3 回実施し、クラスの目標や子どもたちの園での様子を伝えると同時に、保護者から家庭での様子を聞き、相談を受けています。

### 4、地域との交流・連携

- ◇ 地域への子育て支援として、週 2 回の園庭開放、育児相談、一時保育の受け入れのほか、誕生会へ地域の親子の参加を呼びかけています。地域住民向けの育児講座を行い、今後も継続して取り組む予定です。
- ◇ 地域の自治会や町内会との交流は、定期的に行われるまでには至っていません。

### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ パンフレットや法人のホームページ、室内の掲示などで、保育の理念や保育目標をわかりやすく伝えていきます。
- ◇ 理事長と園長は区の園長会、市や区の社会福祉協議会、横浜市私立保育園連盟や日本福祉施設士会等を通じて、様々な外部情報を積極的に収集しています。
- ◇ 法人として、5 年間の中期計画の策定を行っています。また、外部環境の変化を鑑みて、法人 3 園をネットワークでつなぎ、電子決済システムを導入するなど、次代の組織運営に備えた仕組みを積極的に構築しています。

### 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 研修計画が策定されており、職員は外部の研修、見学に積極的に参加しています。研修後は研修記録を作成し、職員会議で報告して全職員で共有し、日々の保育に活かしています。
- ◇ 実習生の受け入れ担当は主任が行い、マニュアルやしおりもあります。
- ◇ 今後は、職員に対して、法人としての施設運営の方向性を明示するとともに、幹部職員を含む後継者の計画的な育成プログラムを確立し、個々の職員に明示していくことが望まれます。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。





「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念である「生きる力を育てます」は、利用者本人を尊重したものとされており、園内では、玄関、事務室、更衣室など職員がすぐ見えるところに掲示し、さらに月1回の職員会議等で全職員に周知徹底しています。また、実施されているサービス内容は、基本方針「基本的な生活習慣をつけ、集団の中で“元気な体・考える頭・愛する心”を育てます」に沿ったものとなっています。</li> <li>・基本方針に沿った保育計画は、全職員が関わって作成されています。また、園は駅に近いビルの中にあるため、エレベーターの利用や、散歩についても、地域実態や周囲の環境を考慮した保育計画の作成を心がけています。</li> <li>・指導計画の項目は、「ねらい、前月の反省・評価・見直し、歌・手遊び、行事、環境構成、保育士の配慮・指導など」細分化されており、子ども一人ひとりの自主性や主体性を大切に、指導計画に反映しています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園までの成育歴等は、入園前の面接の段階で確認し、子どもの発達状況や課題を把握しています。また、一人ひとりのデータはすべて児童票にて一括管理しており、そのデータは指導計画作成や日々の保育に役立てています。</li> <li>・新入園児の受け入れにおいては、短縮保育の期間を保護者と十分に話し合っ決めて、子どもが心理的拠り所とする物(タオル・ぬいぐるみなど)の持ち込みなどもでき、配慮がされています。</li> <li>・保護者とは、個人ノート(乳児)やクラスノート(幼児)を活用し、連絡を密に取っています。</li> <li>・0、1歳は週案・2歳以上は月間指導計画にて、前週・前月の反省・評価・見直しを行っています。この指導計画は、クラス会議・リーダー会議や全体会議など複数の職員が参画して作成し、子どもの発達や状況に応じたものとなっています。</li> </ul>

- 3 快適な施設環境の確保



- ・保育室内は清掃分担(当番職員・クラス・時間帯)が決められ、清掃チェック表を活用し常に室内を清潔に保つことを心がけています。
- ・保育室内は、テラス側が一面大きな窓となっているため、十分な陽光が射し明るい印象となっています。また、各保育室に温度・湿度計を設置し、適切な管理を行い、通風・換気については、24時間行っています。
- ・午睡時には心地よいBGMを流し、静かに過ごす時間を演出するなど工夫しているものの、施設構造上2.3.4.5歳児クラスが1フロアー(2歳児クラスはロッカーで区切りスペースを確保)であるため、クラス別や合同で活動する時の音が一面に広がってしまいます。より一層、「音」への配慮が望まれます。
- ・保育室と区切られたスペースに沐浴設備があり、シャワー設備も整っています。
- ・低年齢児に、コーナーやマットにてブロック遊びや落書きコーナーを提供し、居心地のよい空間を演出するなどの工夫をして、子どもの発達に応じた環境を確保するように心がけています。

- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しています。計画は、子どもの発達状況を適切にとらえるものとし、発達が著しい時期である0、1歳は週に1回・2歳以上は月に1回のクラス会議にて、前月の反省・評価・見直しを行っています。
- ・子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をするために、児童票の項目を「家族構成・身体測定・人間関係・運動・食事・健康・製作・行事・表現・興味関心など」に細分化しています。その情報はパソコンで正確に記録され、全職員が見ることができます。
- ・児童票は6年間記録可能な書式となっており、進級時の申し送り事項に漏れがないように工夫しています。

- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・特に配慮を要する子どもの情報は、その記録を職員会議で配布し話し合いを行っています。さらに、その内容が保育に反映されているかを、午睡の時間を利用し職員間で確認しています。
- ・障がい児保育に関する外部研修を受講し、職員間で情報共有したり、横浜市西部地域療育センターなどの専門機関と連携したりするなど、障がい児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っています。
- ・アレルギー疾患のある子どもへの対応については、かかりつけ医の診断書や指示書により適切な対応を行っています。朝夕の送迎時や連絡ノートにて、保護者との連携を密にしています。代替食・除去食では、ツナマヨをツナ醤油にしたり、卵抜きチャーハンなど工夫しています。
- ・保護者が外国籍の子どもに対してピアスを認めるなど柔軟に対応し、文化や生活習慣等の違いを認め尊重するなど、適切な配慮をしています。


## - 6 苦情解決体制



- ・保護者が直接苦情を申し立てられるように、第三者委員の名前・連絡先を掲示板に掲示しています。その他、意見箱や保護者懇談会並びに年度末・行事後のアンケートにて、保護者の意見・要望を積極的に聞いていると共に、訴えやすい仕組みづくりを心がけています。なお、アンケート結果や意見・要望に対しては、その都度、クラスだよりに掲載したり、玄関に掲示することによって回答しています。
- ・苦情対応マニュアルが備えられており、受付責任者や対応手順など、第三者委員を交えて対応する仕組みができています。また、保護者からの要望や苦情については、職員会議で検討が行われ、改善できるところは改善しています。



## 評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃは保育士の手作りも多く、写真の貼られた棚に収納されていて、子どもが取り出しやすく、また、片付けやすくなっています。</li> <li>・コーナースペースの床はカーペットが敷かれ、絵本、ままごと、ブロック等に分かれており、子どもが落ち着いて遊べるスペースとなっています。</li> <li>・夕方の園庭遊びの後は降園まで自由に遊ぶ時間となっており、絵を書くなどの創作活動や、保育士も入ってボーリングゲームをするなど、子どもは好きな事をして遊んでいます。</li> <li>・保育士は、子どもたちに読みたい本を聞いたり、4・5歳児の散歩では行き先の希望を取ってから決めたり、園庭で何をして遊びたいか聞くなど、子どもの発想や意見を保育に取り入れています。</li> <li>・週1回の英語遊びの日は、3歳児と4・5歳児の2グループになってオーストラリア人の先生と一緒に、トランプを使った数遊びや写真を見て名前を発音、英語の歌を唄うなど、楽しい体験を通して英語に触れています。</li> <li>・日々の保育の中で、大勢の子どもたちで遊ぶ楽しさを体験できるように配慮されており、保育士は、遊具を使う時の順番待ちやエレベーターの乗り方、散歩中の道路の歩き方など社会性を身につけることができるように配慮しています。</li> <li>・毎日の散歩では、川や畑の回りを歩くほか、交通量の多い道路で車を見たり、商店のディスプレイや看板を見ながら歩き地域の生活に触れています。散歩で拾った落ち葉、花びら、どんぐりを持ち帰り製作に使うこともあります。</li> <li>・紙、サインペン、クレヨン、色鉛筆、糊やはさみ、テープ等は自由に取りだせるように置いてあり、子ども達が使いたいときに使えるようになっています。</li> <li>・子ども同士の物の取り合い、言い合いやけんかが起きた時は、保育士は危険のないかぎり見守り、一人ひとりの話を聞き代弁するほか、自分の気持ちを言葉で表現できるように助言しています。</li> <li>・園庭で、子ども達は発達段階に合わせてボール遊び、縄跳び、三輪車や車で遊んでいます。園庭での遊びの中で、また、毎日の散歩の中でも、安全を配慮した上で、マラソンやかけっこを取り入れています。</li> </ul>

## - 1 保育内容[生活]






- ・保育士は子どものペースで食事ができるよう配慮し、嫌いな食べ物も一口は食べられるように声掛けをするなどして、無理強いすることはありません。
- ・乳児がミルクを飲む目安の時間は、家庭からの要望とその日の体調に合わせています。授乳は抱っこで声掛けしながら行い、離乳食を食べる時も子どものペースを尊重しています。
- ・3、4、5歳児は毎月1回クッキングを実施し、おにぎり、サンドイッチ、ピザトースト、プレーンスコーン、メロンパン、サツマイモ茶巾絞り、肉まん、ミート餃子、りんごケーキ等を作り楽しんでいます。「包丁が使えるようになった」「レシピを使って家でもクッキングしています」など、保護者にも子ども達にも好評です。
- ・食事には野菜など季節の食材を多く使用し、味付けはうす味で調理され、行事食の対応もあります。
- ・食器は子どもの成長に合わせ、陶器のふちのある食器を使用するなど吟味されていて、箸は六角の箸を使っています。
- ・給食は外部業者に委託し、栄養士・調理師が派遣され、園の要望に沿った食事作りに努めています。
- ・栄養士は子どもの喫食の様子をできるだけ見るようにし、子どもの好き嫌いを把握して献立づくりに役立てています。
- ・玄関前にはその日の献立サンプル、夏場と乳児食・離乳食は写真を掲示しています。また、保育参加の日には保護者に味見してもらっています。
- ・保育士は子どもが安心して心地良く眠りに入れる様に、午睡前は絵本を読み、カーテンを閉め、オルゴール曲を流し、背中をトントンしたりさすっていいいます。乳児にはSIDSを防ぐために10分おきに呼吸を確認し、寝返りできない子も、うつぶせでしか寝ない子は寝ついてから仰向けにするなど配慮しています。
- ・トイレトレーニングは月齢を基準にするのではなく、トイレでの排尿の習慣がついてから個別に始めています。
- ・園での排泄の状況は登降園時に保護者に口頭で伝えたり、連絡帳で伝え、保護者からも家での様子を聞いて、柔軟に対応しています。

## - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・健康管理に関するマニュアルがあります。
- ・子ども一人ひとりの健康については既往症・アレルギー等を含め個人別児童表に記録されています。
- ・その日の園での様子は、0~2歳児は連絡帳に毎日記載し、3~5歳児はクラスノートに記載したり、降園時に保護者に口頭で、詳しく伝えられています。
- ・歯磨きは0歳児からはじめ、1歳児から毎日、昼食後に磨いています。0~2歳児は保育士が仕上げをし、幼児は子どもに任せています。
- ・健康診断は嘱託医によって年2回行われ、結果は保護者に通知しています。必要な場合は受診を勧めています。
- ・感染症に関するマニュアルがあり、職員全員に配布されています。登園停止基準は連絡帳によって保護者に周知されています。
- ・保育中に感染症の疑いが発生した時は、保護者に連絡するとともに事



	<p>務室の隅のベッドで休ませ、すぐに迎えに来られないときなども、保護者の事情を考慮した柔軟な対応をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が発生した時は、玄関の掲示板に速やかに掲示して保護者に知らせています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理マニュアルがあり見直しがされています。また、職員全員に周知されています。</li> <li>・日々の清掃は清掃マニュアルに沿って行われ、トイレ、流しには清掃チェック表を置き、保育士が清掃後に記入しています。保育室は朝夕2回掃除機をかけ、朝は廊下とエレベーターホールの清掃、週1回は窓拭きをしています。玩具の消毒、布団乾燥も定期的に行っています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理マニュアルがあり、事故や災害時の対応が記されています。</li> <li>・職員全員が救命救急法（普通救命講習）の研修を受けています。</li> <li>・職員の連絡網、子どもたちの緊急連絡票のほか、地域の救急機関、医療機関の連絡先一覧があり、いつでも活用できるようになっています。</li> <li>・毎日昼の時間に、園長、主任、各クラスの保育士、看護師が集まり、事故・ケガ等の伝達と確認の会議をして情報を共有し、必要な対策がすぐ取れるようにしています。</li> <li>・子どもの怪我は、保護者に伝え漏れがないようにするとともに、小さなケガでも、事故報告、ヒヤリハット用紙に記入し再発の防止に努めています。</li> <li>・玄関からの出入りはカードキーを使用していて、園児一人ひとりのIDナンバーがあり、保護者が入力して開閉し出入りします。民間の警備会社と緊急時通報システムの契約をしており、不審者の侵入防止策となっています。</li> <li>・散歩に出かける時は不審者対策として防犯ベル、笛を携帯しています。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の子どもたちへの言葉掛けは、常に優しく威圧的な言葉は使われていません。また、せかしたり、強制することもなく、保育士は子どもにわかりやすい話し方をしています。</li> <li>・子どもの人権については、「叱ると諭すの違い」「子ども的人格を辱めるような罰・自尊心を傷つけるような保育とは」等、具体的事例を交えて職員間で学習会を行っています。</li> <li>・保育士は、年齢に応じて子どもがプライバシーを守れる空間が必要な事を理解しており、日々の保育の中で設定するよう心がけています。</li> <li>・守秘義務については職員マニュアルのなかに記載され、全職員に周知されています。また個人情報の取り扱いについて園として「個人情報保護について」というプリントを作成しており、保護者に配布しています。ボランティア・実習生用にも、マニュアルがあり、その中で周知しています。</li> <li>・虐待の定義については、保育士間で勉強会をしていて、定義は全職員に周知されていて、関係機関と連携が取れる体制となっています。保育士は登降園時、保護者とのコミュニケーションを大切にし、虐待の予防を心がけています。</li> <li>・性別で順番やグループを決めたりはせず、クラス名やグループ名で呼ぶように工夫しています。</li> </ul>

- 4 保護者との交流・連携






- ・園の基本方針は入園説明会でしおりを使って説明され、年度初めの懇談会でも説明されています。また園だより、クラスだよりも記載されています。
- ・保育士は、降園時、お迎えの保護者に子どもの1日の様子を丁寧に時間を取って話すよう心がけています。
- ・乳児は連絡帳を毎日記入、幼児は必要な場合に連絡帳を用意し、細かく子どもの様子を伝え、保護者と十分に情報交換をしています。
- ・懇談会は年3回実施し、園での様子を伝えると共に保護者から家庭での子どもの様子を聞き、相談を受けるなど情報を共有する場としています。
- ・園だより、給食だより、保健だよりを発行しています。また、懇談会後には参加できなかった保護者にも見てもらえるよう、クラスだより等に懇談会の記録も掲載しています。
- ・玄関の掲示板は、全体とクラス別の欄が設けてあり、連絡事項とともに、クッキング、避難訓練、誕生会など行事の子ども写真が貼られ、日常の子ども様子を保護者に見せています。
- ・保育参加・保育参観は年間の行事予定にも含まれていますが、希望により随時受け入れています。
- ・現在、開園1年目ということもあり、保護者組織はないので、定期的な打合せや意見交換の場は持たれておらず、特に場所の提供等はしていません。ただし、今後、保護者組織立上げの希望があれば、園として協力する姿勢があります。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の住民からの園に対しての要望を聞くための意見箱を玄関に設置しており、週2回の園庭開放時や育児講座の参加者からも要望を把握しています。</li> <li>・区福祉保健センターの保健師による地域支援の研修を受けています。</li> <li>・地域の子育て支援への取り組みとしては、一時保育の受け入れのほか、誕生会に地域の親子の参加を呼びかけて交流保育をしています。また、絵本の貸し出しを行っています。</li> <li>・2月に地域住民に向けて「親子でふれあい」と題した育児講座を行い、絵本についての話と、牛乳パック工作をしました。今後も継続して取り組んでいこうと計画しています。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関には、各種相談窓口や育児関係のパンフレットが置かれ、地域住民への情報提供をしています。また毎週水曜日の午後と、園庭開放時は育児相談を行っています。</li> <li>・誕生会、園庭開放、育児講座の開催など園からのお知らせは、園の玄関の掲示板や、区役所に掲示し、情報を提供しています。</li> <li>・相談の内容によっては区役所や学校、病院などの関連機関と連携して取り組む体制となっています。</li> </ul>




## 評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の小学校のお店屋さんごっこに招待され、小学生とペアになって買物ごっこをし、楽しく交流しました。また運動会やフェスティバルに招待され、太鼓の演奏を聞くなどの交流もしています。園庭に土が無いいため、庭の広い園からの招待もあります。</li> <li>・毎日の散歩の際は、地域の人と気軽に挨拶をしています。</li> <li>・園が開設されて日が浅いため、地域の行事への参加は少ないのですが、保護者からの情報提供も活発で、今後は積極的に参加したいと考えています。</li> <li>・地域の誕生月の子どもを誕生会に招待したり、絵本の貸し出しを行っています。実際の利用は少なく、今後は積極的に周知の工夫が望まれます。</li> <li>・地域の自治会や町内会との定期的な交流についても計画的に行われるまでには至っていません。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすいパンフレットや園のホームページにより、広く園の情報を提供しています。</li> <li>・利用希望者の問い合わせに対しては、常時対応しています。また、見学希望者の月齢を考慮した対応をし、曜日や時間も、可能な限り希望者の予定に合わせて設定しています。</li> <li>・外部の情報媒体からの取材は、今の所はありません。要請があれば対応する姿勢です。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの受け入れ担当は主任と決めており、マニュアルもあり、受け入れる体制があります。</li> <li>・実習生の受け入れ担当者は主任と決めており、マニュアルやしおりもあります。</li> <li>・実習生の受け入れに当たっては、目的に沿った効果的な実習ができるように職員間で打合せがなされています。</li> <li>・実習終了後は、実習生の率直な感想や反省を聞いて、今後の保育の参考にしています。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の基本理念や基本方針に適合した人材を育成するため、人材育成計画があり、「求められる職員像・自己チェックシート」を活用しています。この仕組みは、各職員が毎年、年度初めに「自己チェックシート」にて園長・主任と面談して目標を設定し、次年度に前年度の反省と今年度の目標設定を行うものです。</li> <li>・ 研修担当者は園長とし、1年間の研修計画が策定されています。研修内容については、受講した職員が研修記録に記載後、職員会議等で報告を行います。必要があれば、内部研修に発展させ、職員で共有し、日々の保育に活かしています。</li> <li>・ 園としては、朝夕の送迎時など同じ職員で対応するため、当面、非常勤職員採用の予定はありません。今後、非常勤職員を採用した時は、職員との組み合わせに配慮する予定です。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいます。</li> <li>・ 保育の見直しや評価を行う機会として、各クラス会議・クラス代表会議・クラスリーダー会議(クラス代表会議より重要事項を決定する会議)・職員全体会議などがあり、すべて定期的(週1回から月1回までの期間)に行っています。</li> <li>・ 職員は、外部研修や施設見学などで得た、他施設での良いサービス事例については、午睡の時間を利用した話し合いや各種会議で共有し、一層のサービス向上を目指しています。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「求められる職員像・自己チェックシート」にて、経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として職員一人ひとりに示されています。このねらいは、職員の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めることです。</li> <li>・ 職員からの業務改善提案は、主にクラス会議や職員会議で検討されます。また、年度初めの園長面談によって、職員の要望を聞く体制も整っています。</li> </ul>

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守るべき法・規範・倫理等については、全国保育士倫理綱領を玄関掲示板・事務室・職員更衣室に掲示し、職員に周知徹底を図っています。</li> <li>・理事長や園長は、自ら率先して遵守しています。</li> <li>・園の沿革、保育目標、決算報告等の経営情報は、ホームページにて積極的に公開しているものの、会議等での職員説明にまでは至っていません。</li> <li>・ごみ減量化やリサイクルに関して、ゴミの分別・職員のゴミは各自持ち帰ること・廃材を利用した製作・裏紙を有効利用することなど、たくさんの取り組みを行っています。</li> <li>・節電節水などの省エネルギーの項目については、経営方針への明文化・職員用マニュアルへの記載・事務室への掲示をして、職員に周知徹底をしています。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の理念、基本方針を玄関掲示板・事務室に掲示しています。さらに、全職員にマニュアルを配布し、職員に周知徹底しています。</li> <li>・園が重要な意思決定をする際には、保護者からの意見を聞くためのアンケートを実施したり、保護者へ告知するためのプリント配布や掲示板への掲示などの様々な手法をとる予定です。</li> <li>・主任クラスの計画的な育成プログラムが確立されてはいません。今後は、育成プログラムの作成と個々の職員への明示が望めます。</li> <li>・主任はクラスを受け持っていないため、業務全体を把握し、必要に応じて補助に入っています。また、主任を中心に勉強会を開催し、個々の職員の能力や経験にあわせて、指導・助言を効果的な方法で行っています。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部環境の変化に対応するため、理事長は各種会議や、市・区の社会福祉協議会、横浜市私立保育園連盟や日本福祉施設士会等を通じて、様々な外部情報を積極的に収集しています。</li> <li>・法人として、5年間の中期計画を策定しています。</li> <li>・外部環境の変化を鑑みて、法人3園をネットワークでつないで電子決済システムを導入するなど、次代の組織運営に備えた仕組みの構築を積極的に行っています。</li> <li>・法人として、税理士・社会保険労務士からの意見・助言を取り入れる仕組みがあります。</li> <li>・今後は、職員に対して、法人としての施設運営の方向性を明示するとともに、課題である後継者の育成について、計画的なプログラムを確立し、個々の職員に明示することが望めます。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2006年12月1日～15日
  - 2、実施方法 事業者から直接利用者家族に配付(手渡し) 同封の返送用封筒にて評価機関宛匿名で返送
  - 3、回収率 56.0パーセント (配布総数84枚、回収数47枚)
  - 4、所属クラス 0歳児6人、1歳児10人、2歳児12人、3歳児13人、4歳児4人、5歳児2人、無回答0人
- 同一家族で複数名が園に在籍の場合には、下の園児のクラスについて回答。

### 設問ごとの概要

#### 【問1】保育園の保育目標や保育方針について

57%の保護者が保育目標や保育方針について“知っている”と回答しています。その反面、28%の保護者が“知らない”と回答しています。なお、“知っている”と回答した保護者の93%が「目標や方針に賛同できる」と回答しています。

数値57%は、「知っている」「まあ知っている」を合わせたもの。

数値28%は、「あまり知らない」「まったく知らない」をあわせたもの。

#### 【問2】入園する時の状況について

全体として平均すると、保護者の満足度合いは5割です。満足度の高い項目としては、「園の目標や方針についての説明」や「保育園での1日の過ごし方についての説明」があり、割合は60%前後となっています。その反面、43%が不満と回答している項目として「入園前の見学や説明など、園からの情報提供」がありますが、これは今年度新設したばかりの園であるという事情によるためです。また、「見学の受け入れ」・「入園時の面接」の項目について“その他”の回答が40%を超えていますが、これには「開園前のため、見学は無かった」・「行政の面接以外、面接は無かった」という回答が多く含まれています。

数値43%は、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせたもの。以下同様。

#### 【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事の説明」・「年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているか」について、“満足”・“不満”がともに40%を超えています。不満要因として、「遠足や運動会などの大きな行事を開催してほしい」という声が多数あります。

#### 【問4】日常の保育内容について

「遊び」についての5項目は、全体に75%の保護者が満足しています。特に「園の遊びについて」、「園のおもちゃや教材について」は、満足度が高くなっています。その反面、「自然や地域とのふれあい」について30%の保護者が“不満”としています。

「生活」についての6項目も、全体に80%の保護者が満足しており、高い評価です。特に「給食メニューの充実」、「子どもが給食を楽しんでいるか」の項目はともに90%を超えており、満足度が非常に高くなっています。また、「園でのオムツはずしの取り組み」について「その他」の回答が19%となっています。これには「入園時におむつがとれていた」などの回答が多く含まれています。

数値75%は「満足」「どちらかといえば満足」を合わせたもの。以下同様。



【問5】快適さや安全対策について

「外部からの不審者侵入に対する備え」については74%の保護者が満足しています。その反面、「園舎、園庭などの施設」・「子どもが落ち着いてすごせる雰囲気」については47%、「衛生管理や感染症対策」については38%の保護者が“不満”と回答しています。その他特記コメントとして、施設や園庭に対して「せまい」という声があります。

【問6】園と保護者との連携・交流について

7項目全体として、65%の保護者が満足しています。「園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供」については、80%近い満足度で高い評価となっています。その反面、「園の行事の開催日や時間帯への配慮」や「送り迎えの際の子どもの様子に関する説明」については、満足・不満の割合がほぼ半分となっています。その他特記コメントとして、「平日の午後では参加しづらい」・「園での子どもの様子をお迎えのときに伝えてほしい」との声があります。

【問7】職員の対応について

5項目全体として、70%の保護者が満足しています。特に「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」は91%、「子どもが大切にされているかどうか」は87%の保護者が満足しており、非常に高い評価となっています。「アレルギー・障がいのある子どもへの配慮」については、「その他」の回答が38%となっていますが、これには「よく分からない」・「アレルギーなし」という回答が多く含まれています。

【問8】総合的な評価について

70%の保護者が満足しています。

結果の特徴

- ◇ 開園1年目という状況の中、「入園時の状況」や「年間の計画」についてはまだ確立されていないため、その状況がアンケート結果に反映されています。
- ◇ 「園と保護者との連携・交流」についても同様に、保護者との連携手段や方法を確立し、連携をより一層密にすることを期待します。

# 利用者(園児)家族アンケート集計結果

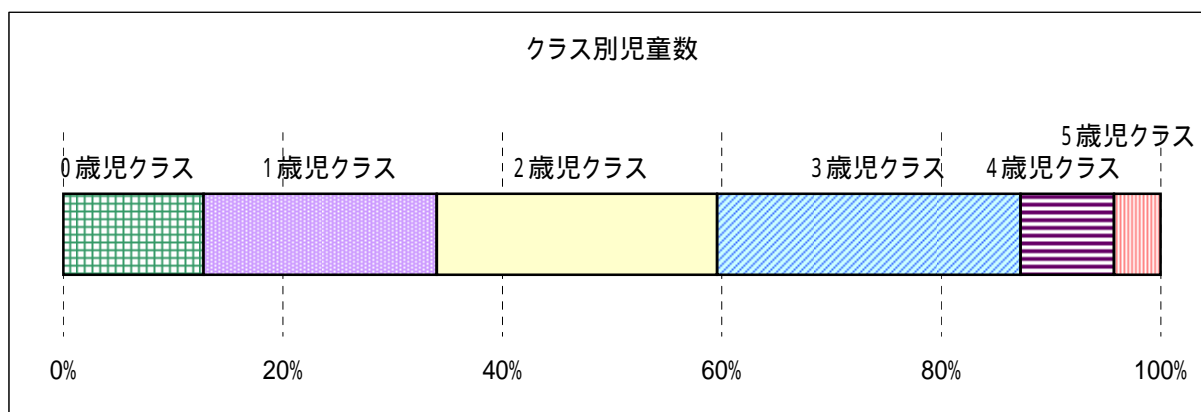
実施期間：2006年 12月1日～15日

回収率：56.0% (回収数 47枚 / 配付総数 84枚)

## 【属性】

クラス別児童数 同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の園児のクラスについて回答。

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	合計
6	10	12	13	4	2	0	47



## 保育園の基本理念や基本方針について

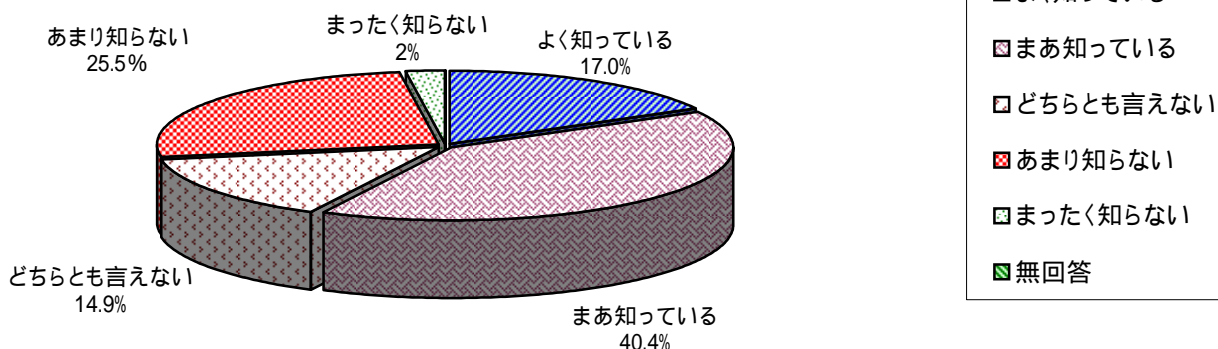
### 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	17.0	40.4	14.9	25.5	2.1	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

#### 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか



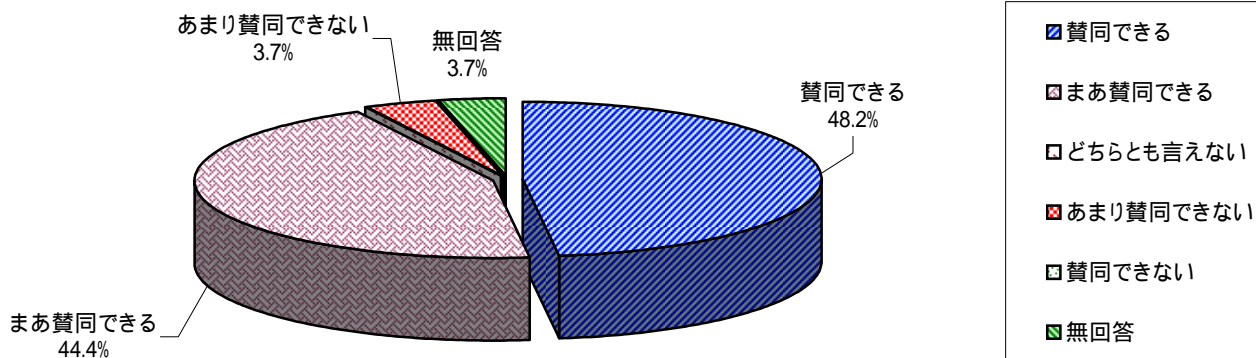
「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

### 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	48.2	44.4	0.0	3.7	0.0	3.7	100

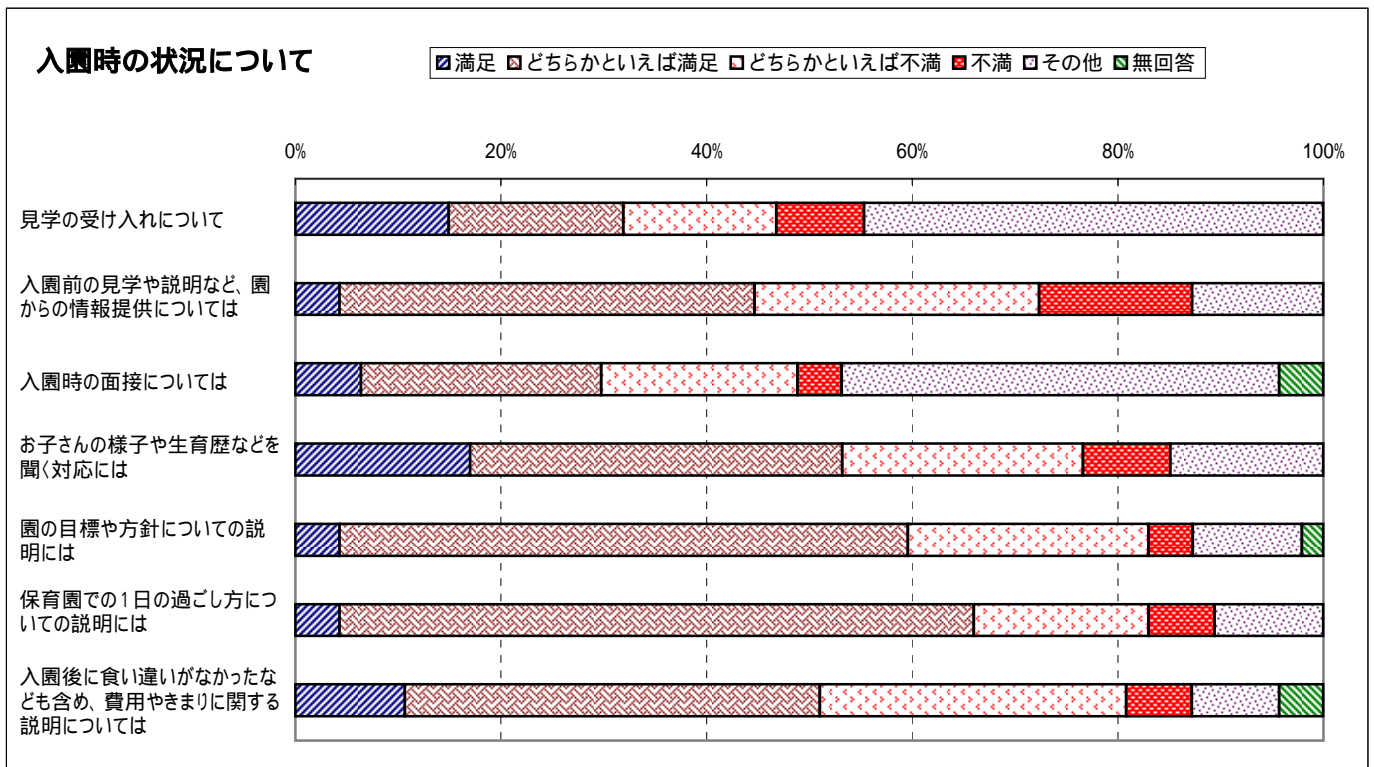
#### 保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



## 保育園のサービス内容について 問2 入園時の状況について

(%)

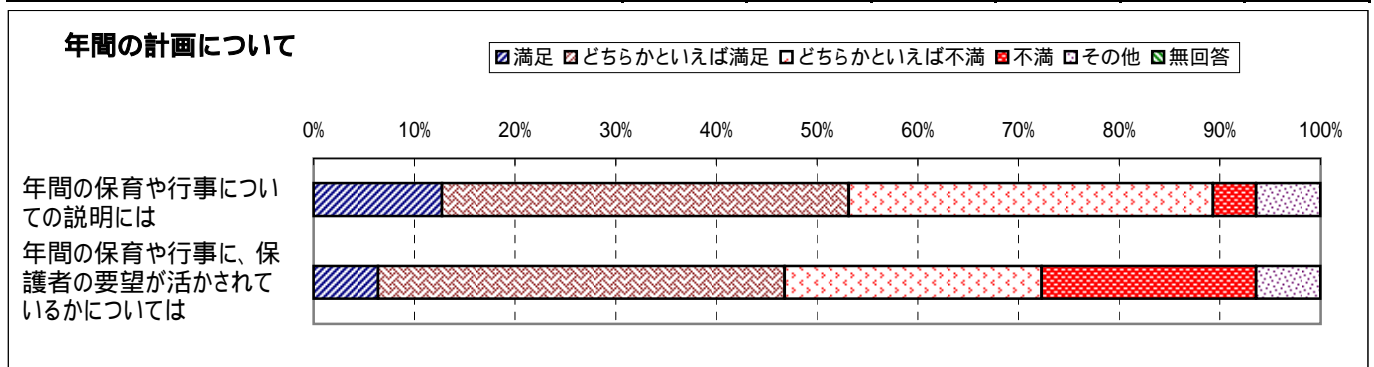
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	14.9	17.0	14.9	8.5	44.7	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	4.3	40.4	27.7	14.9	12.8	0.0	100
入園時の面接については	6.4	23.4	19.1	4.3	42.6	4.3	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	17.0	36.2	23.4	8.5	14.9	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	4.3	55.3	23.4	4.3	10.6	2.1	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	4.3	61.7	17.0	6.4	10.6	0.0	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	10.6	40.4	29.8	6.4	8.5	4.3	100



## 問3 年間の計画について

(%)

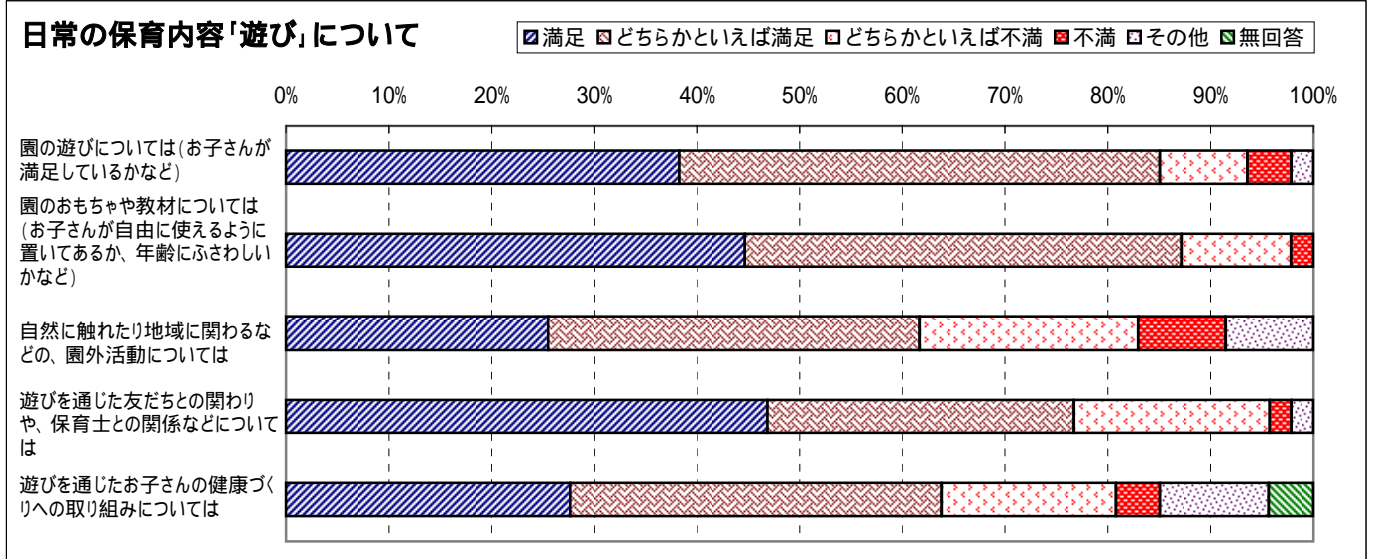
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	12.8	40.4	36.2	4.3	6.4	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	6.4	40.4	25.5	21.3	6.4	0.0	100



## 問4 日常の保育内容について

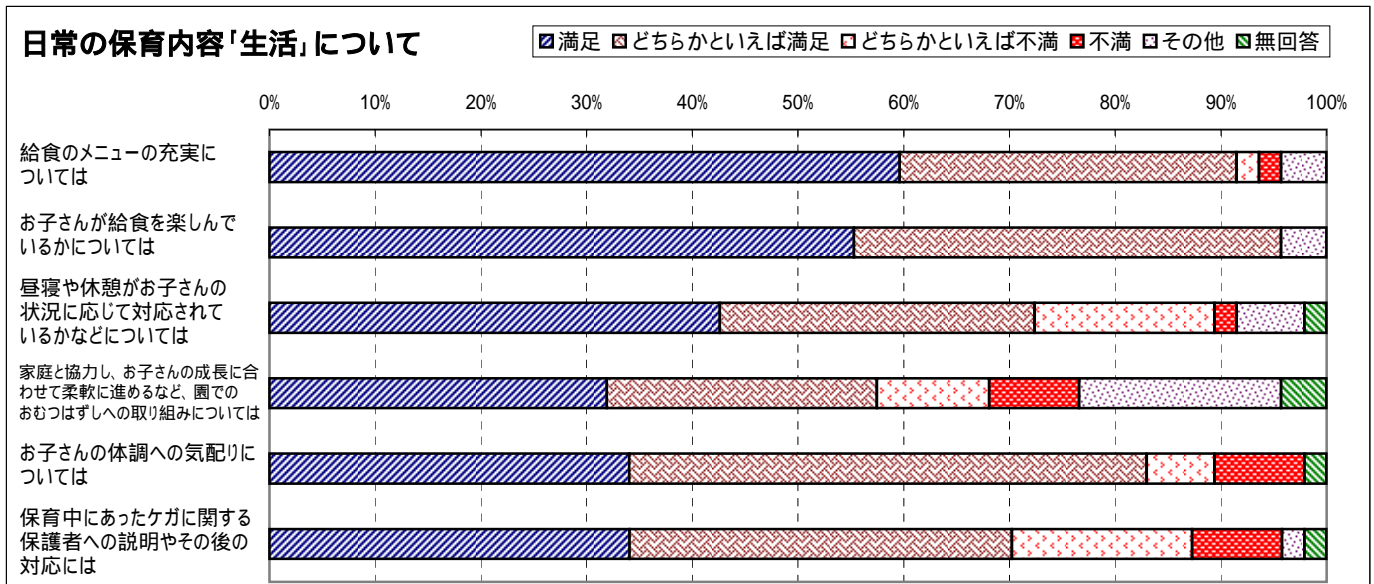
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	38.3	46.8	8.5	4.3	2.1	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	44.7	42.6	10.6	2.1	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	25.5	36.2	21.3	8.5	8.5	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	46.8	29.8	19.1	2.1	2.1	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	27.7	36.2	17.0	4.3	10.6	4.3	100



(%)

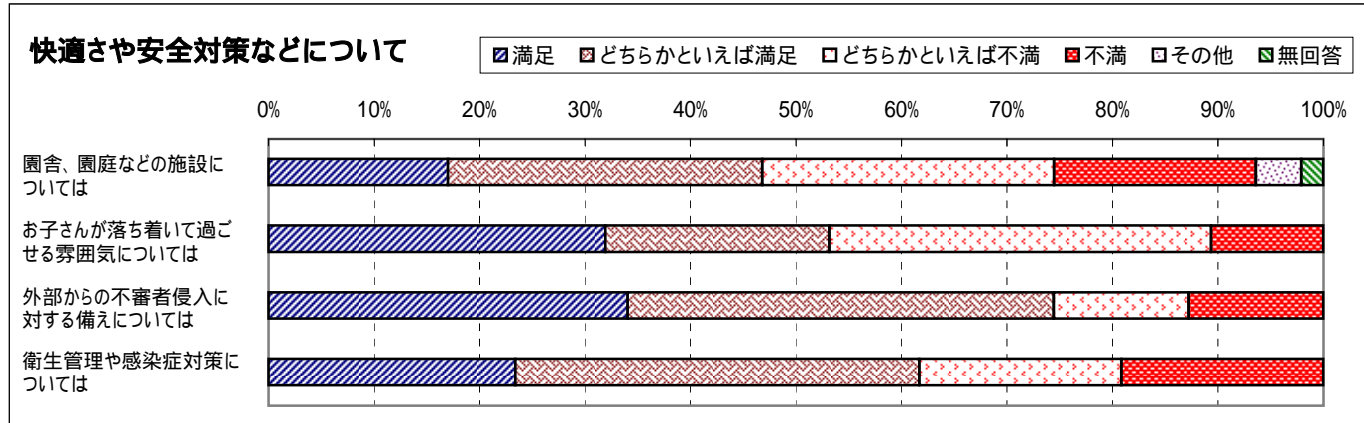
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	59.6	31.9	2.1	2.1	4.3	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	55.3	40.4	0.0	0.0	4.3	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	42.6	29.8	17.0	2.1	6.4	2.1	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	31.9	25.5	10.6	8.5	19.1	4.3	100
お子さんの体調への気配りについては	34.0	48.9	6.4	8.5	0.0	2.1	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	34.0	36.2	17.0	8.5	2.1	2.1	100



## 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

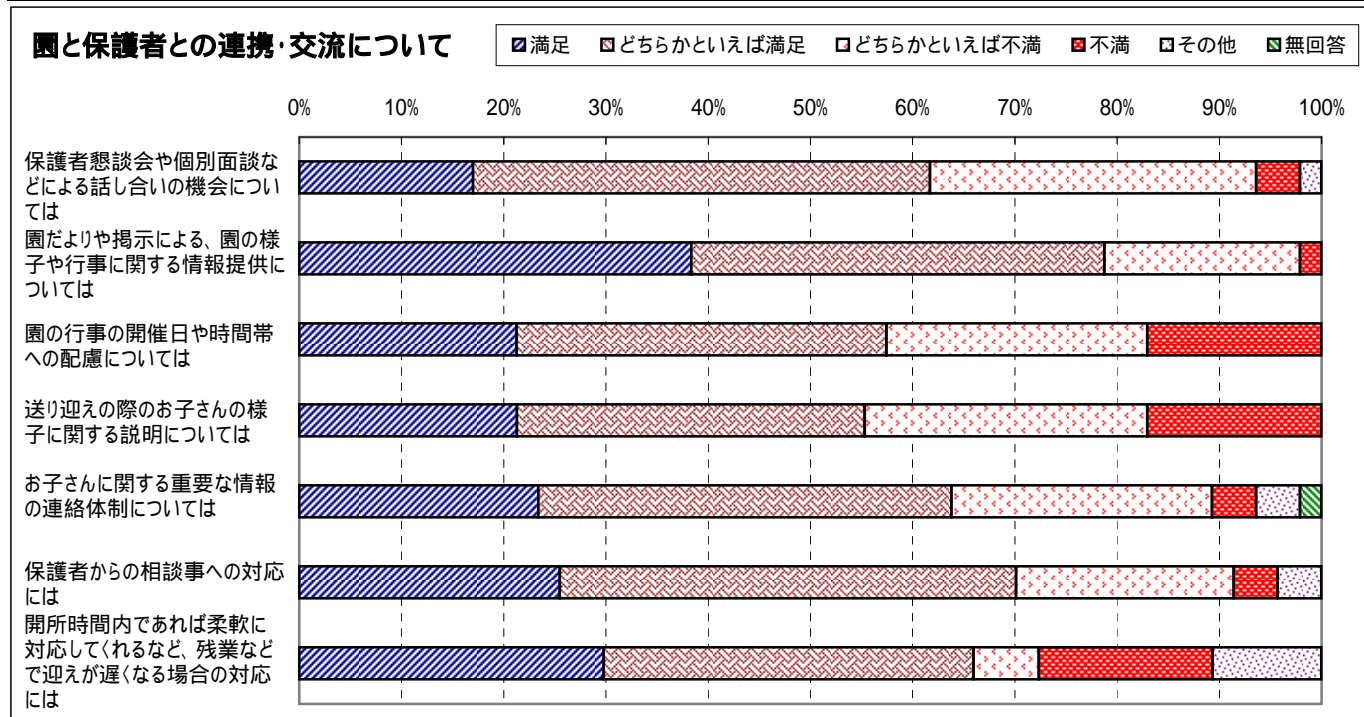
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	17.0	29.8	27.7	19.1	4.3	2.1	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	31.9	21.3	36.2	10.6	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	34.0	40.4	12.8	12.8	0.0	0.0	100
衛生管理や感染症対策については	23.4	38.3	19.2	19.2	0.0	0.0	100



## 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

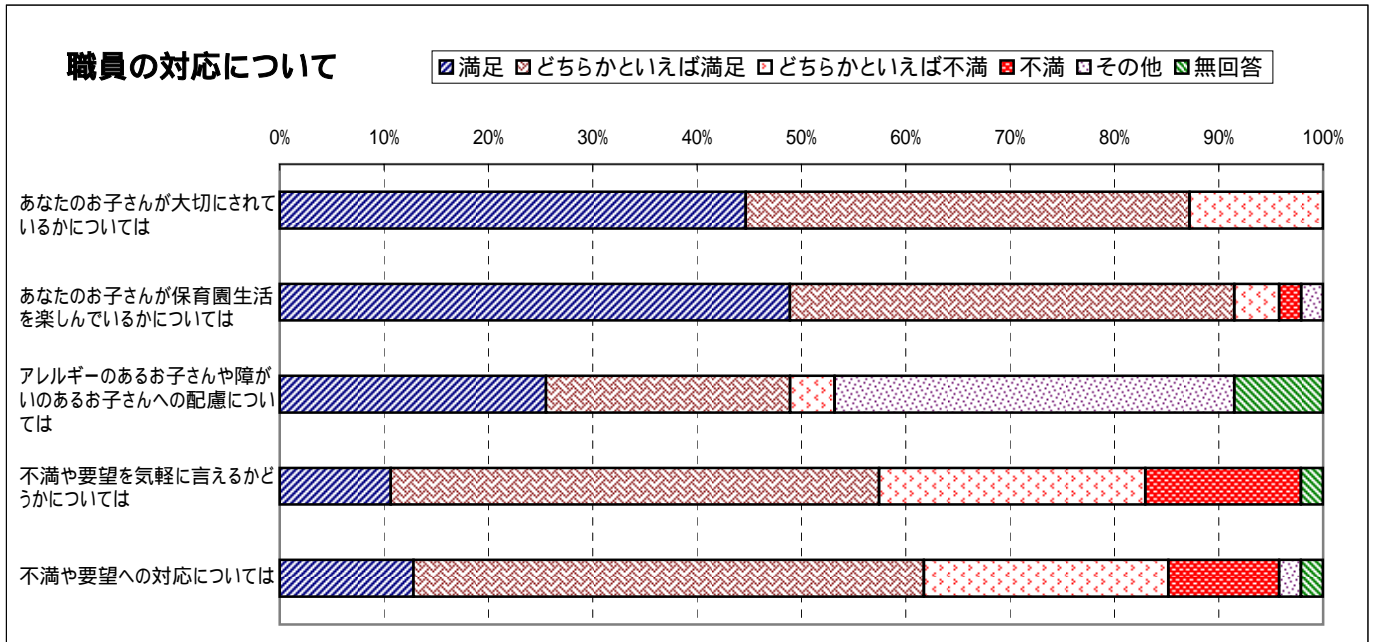
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	17.0	44.7	31.9	4.3	2.1	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	38.3	40.4	19.1	2.1	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	21.3	36.2	25.5	17.0	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	21.3	34.0	27.7	17.0	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	23.4	40.4	25.5	4.3	4.3	2.1	100
保護者からの相談事への対応には	25.5	44.7	21.3	4.3	4.3	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	29.8	36.2	6.4	17.0	10.6	0.0	100



## 問7 職員の対応について

(%)

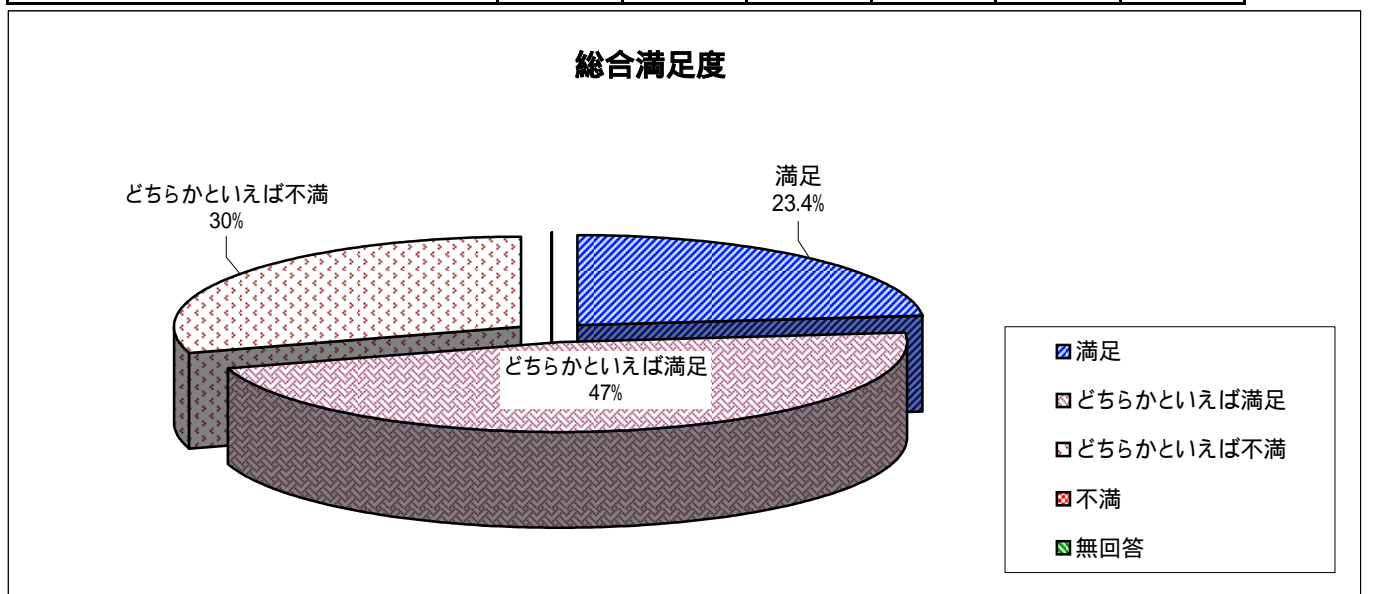
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	44.7	42.6	12.8	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	48.9	42.6	4.3	2.1	2.1	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については	25.5	23.4	4.3	0.0	38.3	8.5	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	10.6	46.8	25.5	14.9	0.0	2.1	100
不満や要望への対応については	12.8	48.9	23.4	10.6	2.1	2.1	100



## 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	23.4	46.8	29.8	0.0	0.0	100



## 利用者本人調査 分析

観察調査： 2007年3月12日(月)、3月15日(木) 9:00~12:30

聞き取り調査： 5歳児クラスの給食時および散歩時に実施

### 1. 遊びについて

朝、0.1歳児は椅子に座り絵本を読んでもらいました。動物の顔が出てくる絵本に子ども達は集中していました。人形を使っての手遊びを面白そうに見つめ、一緒に声を出したり体を動かしました。保育士がおもちゃのいっぱい入った籠を持ってきて置き、子ども達は好きなおもちゃを手にとって自由に遊び始めました。持ちきれないほどのブロックを持って歩く子、携帯電話のおもちゃで保育士やお友達と会話のマネをする子、バケツを保育士の頭にかぶせて笑顔の子もいました。保育士は注意深く観察しながら遊びが発展するように配慮しています。

散歩はバギーに数人が乗り、あとは保育士が手を引いて出かけました。幹線道路は交通量が多く、保育士は常に安全面の配慮をしていました。子ども達は、電車やバス、タクシーなどの乗り物や看板、八百屋の野菜などに興味を示し、保育士はそれに笑顔で答えていました。

2歳児の園庭遊びは、フラフープを並べたりくぐったり、保育士が入って買物ごっこ、ボールを蹴ってサッカー、三輪車などで、いずれも保育士の直接の関わりとたくさんの声掛けがされていました。

3.4.5歳児は登園後、園庭で思い思いにジョキングをはじめました。少しして、保育士が前に立ちリーダーとなって、オリジナルの「うきうきパレード」が始まりました。全員が楽しそうにリズムに乗って体を動かします。自分の気に入ったポーズの所だけ踊る子どももいました。ダンスの次は「マラソン」で、2列に並び、園庭を7周位しました。障がいのある子どもも一緒に走っています。朝の会の後、3歳児は「色遊びのワーク」で、カーテンのイラストにクレヨンで色を塗りました。4歳児は「線遊びのワーク」で、線の模様をなぞったり書き加えたり、色鉛筆で色を塗りました。また、5歳児は「線遊び文字遊びのワーク」に取り組みました。

3歳児が保育室で英語を始めました。英語遊びはオーストラリア人の先生と一緒に、トランプを使いアルファベットや数字を言ったり、「三匹のこぶた」の絵本を読んだり、ABCの歌を唄いました。カードを渡すと子ども達は「サンキュー」と言い、皿・洋なし・ペンギンなどの写真を見ながら名前を英語で発音しました。この日は特別長く続け、子ども達も疲れている様子でした。

4.5歳児は園庭で男の子4、5人がボールでゲームを始めました。女の子数人が縄跳びをし、前跳び・後跳びを交互にやり、長縄も沢山跳んでいました。子ども同士で教え合ったそうです。三輪車やコンビカーは人気の遊具で、保育士が時間を見て交替を促したり、子ども同士でじゃんけんをして順番を変えました。自由に走り回りますが、ぶつかる事はありません。3歳児の英語が終わると交代をして、4,5歳児が英語で、内容はほぼ同じですが、さらに長く続けていました。

3歳児の園庭遊びでは保育士がリードしていました。三輪車やコンビカーの交替を促したり、固定の遊具をドライブスルーのお店に見たて、「車に乗ったまま買物しよう」と提案したり、「ドライブに行きます」と遊びの内容を発展させるような声掛けをしていました。

### 2. 食事について

0.1歳児はテーブルに5~6人の子どもと保育士1人が座っています。配膳される間、子ども達は「おひるだおひるだ嬉しいな」と歌ったり手あそびをしながら待ちます。食事が始まると保育士は「もぐもぐしてね」「ジャガイモ入っていた？どれどれ」などと声掛けしました。食物アレルギーのある子どもは、別のテーブルが用意され、保育士がそばについて食事をしました。

2歳児クラスは保育士が配膳し、「春のにんじん甘いねー」などと声掛けもたっぷりあり、ゆったりと落ち着いて食事していました。手足口病の子どもや食の細かい子には保育士がそばについてゆっくり食べさせていました。箸を上手に使っています。

3.4.5歳児クラスは、配膳台に大きな鍋やボールが運ばれてきて、保育士が盛り付け、お当番の子



どもがみんなに配りました。ホワイトボードで献立説明があり、お当番が歌いながら号令をかけました。集中できない子どもも見られ、保育士の声もだんだん大きくなっていき、お当番も怒鳴るような声になってしまったので、保育士は「怒鳴らないで下さいね」と言いました。ゆっくり食べる子どもに、保育士が「おいしいよ、食べてごらん」などと声掛けしました。食事が終わると子ども達は自分の食器を片付けます。保育士は「食器はやさしく」と言い、子ども達は丁寧に扱っていました。

5歳児では「クッキング大好き」と話す子どもが多く、「包丁が使えるようになった」「レシピをもらって家で作ったの」と、食育によって子ども達が食への関心を高めている様子が窺われました。

### 3.排泄について

0・1歳児クラスは散歩に出かける前にオムツ替えをします。トイレは保育室に隣接しています。部屋の隅に担当保育士が座り、子ども達は順番に呼ばれオムツを替えます。トイレの中にも保育士がいて、座ってトイレをする子どもの手伝いをします。オムツと着替えは事前に用意して並べられており、保育士は連携して素早く済ませていました。

2歳児は、前の人の肩に手を載せて列車のようにつながってトイレの前に行きました。トイレの中でスリッパを履き、扉の無いトイレを使用しました。

3.4.5歳児は、次のプログラムの前に保育士に促され、トイレに行きます。「走らないで」という注意を守り、各自が自由に行き、扉のあるトイレを使用していました。

### 4.清潔・健康について

園庭での遊びから保育室に入る時、散歩から帰った時など、子ども達は洗面所で手を洗います。洗面所の天井には漫画のキャラクターの絵が貼ってあり、子ども達は、その絵を見る感じで上を見てうがいします。特に促される事なく、すすんで手洗いをしていました。

### 5.いやな思いへの対応や権利を守ることについて

子ども達は「・・・ちゃん」「・・・くん」または家で呼ばれている愛称で呼ばれています。保育士は子どもとの関わりの中で「～しましょう」と話しかけ、命令や否定口調は聞かれませんでした。

おもちゃの取りっこがおきた時、保育士はしばらく様子を見ていましたが、収まらないので間に入り、「貸してとってみたら」「一緒にできないかな」「一つずつ使ったらどうかな」と、穏やかに対応していました。

### 6.職員について

観察では、若い保育士の元気いっぱいの様子が見られました。

0.1歳のクラスでは泣いている子どもの対応、散歩の準備、登園時の保護者への対応、食事のテーブルセティングと片付け、午睡の用意の場面で、てきぱきとした迅速な動きが見られました。

2歳児のクラスはトイレ、着替え、食事、遊びなどに時間がかかったり、個人差が見られましたが、保育士はゆっくり子どもの意向を確かめ、子どもに合わせている様子が見られました。

3.4.5歳児では、活発に動く子どもに保育士の大きな声が響く場面もありましたが、子ども達が「先生、見て見て」と保育士をお姉さん、お兄さんのように慕う様子も見られました。保育士は、午睡時に細かい打合せをしていました。保育士同士の連携の良さが印象的でした。

### まとめ

子ども達は元気で伸び伸びと園生活を送っています。ビルの中の保育園ですが、園外活動を多く取り入れ、散歩時には公園で自然観察をしたり、公園の遊具で思いきり遊んでいます。

園内では、乳児は独自の保育室や区切られたスペースで落ち着いて過ごしていましたが、幼児はコーナーは工夫されているものの、時により落ち着かず、保育士がつい大きな声で指示をする場面も見られます。保育士の熱意に加え、更なる保育環境の整備と保育の質の向上が期待されるところです。

## 事業者意見

明德二俣川保育園

今回、同法人3園の第三者評価受審が決まり、本園は開園1年に満たない状態での受審となり不安でしたが、評価結果よりも過程が大切と、主任を中心に全職員で勉強会を進め、取り組むことが出来ました。

長期にわたり評価して下さいました評価調査委員の方々には、優しく見守っていただきながら、温かくも厳しい評価、的確なアドバイス頂き感謝しております。

この評価結果を真摯に受け止め、幾つかの改善点・課題に取り組み、こどもにとってより良い保育を目指し、地域の福祉向上に努力していきたいとおもいます。